

国立美術館のアートカード

グループワークでは、平成19年度に国立美術館が制作した「アートカード・セット」が紹介された。アートカードは、遊びを通して美術鑑賞能力を伸ばすことを目的とした、鑑賞教材である。誰にでも簡単に始められるうえ、楽しく創造的な鑑賞ができることから、近年、日本でも注目されつつある。

国立美術館のアートカード・セットには、東京国立近代美術館、東京国立近代美術館工芸館、京都国立近代美術館、国立西洋美術館、国立国際美術館の所蔵作品のカードが、13枚ずつ収められている。

アートカード・セットは、各国立美術館から学校などに貸し出すことができる。また、研修受講者には1セットずつ贈呈し、研修終了後、アンケートや実践報告を提供していただいた。

「楽しい！」

「またしようよ！」

2年生には難しそうな印象だったのですが、大変に勢いよくゲームにぐいぐいきてきました。クラス20人を5班に分けて、テーブルにカードを並べた時点で子どもたちはワクワクして、自分のお気に入りを探し始めました。終了後も「楽しい！」「またしようよ！」という感想でした。（小学校教諭）

※他の利用者の声や貸し出し方法については

..... 巻末をご覧ください

アートカード・セット



【入っているもの】

- アートカード71枚
- 子ども用ルールシート
- 作品リスト
- 教師用冊子